参考資料

西成区HP
「運営方針」

令和６年度　西成区運営方針
（概要版）

令和6年度　西成区運営方針

西成区の目標（何をめざすのか）

「すべてはこどもたちのために」をキャッチフレーズに、人と人とのつながりを大切に、みんなが笑顔で暮らしやすいまちをめざす。

西成区の使命（どのような役割を担うのか）

区民の多様な意見やニーズを把握し、地域住民等との連携・協働しながら、地域の実情や特性に即した施策や支援を行う。

令和６年度　西成区運営の基本的な考え方（区長の方針）

若い人や子育て世帯を呼び込み、活力あるまちをつくるため、
3本柱（①子どもの夢がひろがるまち、②人と人がつながりにぎわうまち、③みんなが安心して暮らせるまち）の施策を進めていく。

経営課題における主な具体的取組

経営課題	主な戦略	主な具体的取組	部会
【経営課題1】 子どもの夢が広がるまち	（1）子どもが健やかに成長できるようにする （2）すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる （3）親子が安心して暮らすことができるように支える	西成区こども生活・まなびサポート事業【重点】	こども部会
		外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業【重点】【新規】	
		学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業【重点】【新規】	
		基礎学力向上支援事業（西成ジャガピースクール）	
		西成区基礎学力アップ事業（西成まなび塾）	
		発展型学習支援事業【重点】【新規】	
		プレーパーク事業【重点】	
		障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業	
【経営課題2】 人と人がつながりにぎわうまち	（1）住みたいまち、行ってみたいまちにする （2）地域の活動を支えてつながりをつくる （3）誰もが活躍して輝けるまちにする	西成区文化観光振興事業（R5西成区魅力発信事業）	にぎわい部会
		地域コミュニティ支援事業	
		緑化推進事業	
		西成区地域福祉推進事業	
		西成版サービスハブ構築・運営事業【重点】	
		区における人権啓発推進事業	
【経営課題3】 みんなが安心して暮らせるまち	（1）大規模災害等に備えた体制をつくる （2）行政と地域住民が連携して防犯・安全対策を行う （3）あいりん地域の環境改善事例を広げていく	地域防災活動事業	安全あんしん部会
		防犯対策事業	
		自転車等安全利用啓発事業	
		空家等対策推進事業	
		あいりん地域環境整備事業（巡回・啓発等）	
		結核対策事業	

経営課題①　子どもの夢がひろがるまち

学力向上に向けた区施策イメージ「教育するなら西成」

第三期西成特区構想：人口減少に歯止めをかける。

18～25歳の若年層が流入増加も、就学前世帯（0～5歳・25～35歳）は転出超過。
⇒まちづくり（住環境）とともに、教育環境を充実し、住み続けてもらう。

◆子育て世帯の幅広いニーズに応え、「大阪市平均の学力」「不登校の実質ゼロ」の実現に向けて取り組む。

	小1・2	小3・4	小5・6	中学生
学力が高く学習意欲がある児童生徒		西成ジャガピースクール（基礎学力向上支援事業）	西成ジャガピースクールアドバンス（発展型学習支援事業）新規 西成まなび塾（西成区基礎学力アップ事業）	西成特別進学塾 学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業 新規
学力に課題がある児童生徒	こども生活・まなびサポート事業（学習姿勢向上）拡充		外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業 新規	

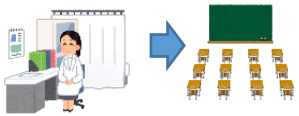
支える仕組み

- こども生活・まなびサポート事業（登校支援・訪問支援・居場所支援）拡充
- プレーパーク事業

経営課題①　子どもの夢がひろがるまち

不登校の実質ゼロに向けた取組

重度　←　児童生徒の不登校の度合い　→　軽度

	家から出られない	学校に行けない	教室に入れない	登校できない	不登校につながるおそれがある
児童生徒の様子	家から出られず、どこの支援にも繋がっていない	学校のルールや人間関係に馴染めず、在籍校に行くことができない	学級のルールや人間関係に馴染めず、登校しても教室に入れない	遅刻・行きしぶりなど、家から学校に行くための支援が必要	席につけない、話をきいていないなど学習姿勢が身についていない
～R5の取組		こどもサポートネット事業	登校支援　※人手が不足		学習姿勢向上（モデル実施）
R6～の取組	業務内容追加 訪問支援	こどもサポートネット事業	拡充 居場所支援	登校支援	実施校拡大 学習姿勢向上
こども生活・まなびサポート事業の取組み	区内小中学校に区登校支援・見守り支援員を配置（登校支援と兼任）		区内中学校に区居場所支援員を配置 居場所の環境整備	区内小中学校に区登校支援・見守り支援員を配置（訪問支援と兼任）	区内小学校に区学習姿勢向上支援員及び区低学年サポーターを配置
支援内容	自宅に訪問し、学習支援や相談対応など、不登校による不利益を補う支援を行う	つながり先を整理し、教育支援センター、フリースクールなど学校外の支援機関へのつなぎを行う	 別室登校の支援を行い、教室に入れない児童生徒を段階的に登校できるようにする	電話や家庭訪問などにより学校に通えるようにする	座って学習する、話を聞くなどの学習姿勢定着に向けた個別の支援を行う

不登校者在籍率を大阪市平均に近づけ、不登校の度合いや状況に応じたつながり先を確保し、全員が何らかの支援につながっている「不登校の実質ゼロ」を目指す

学習姿勢を定着させ、学力の向上を目指す

経営課題①　子どもの夢がひろがるまち

西成区こども生活・まなびサポート事業

４決算額	63,255千円	５予算額	82,485千円	６予算額	147,859千円

目的

サポートが必要な児童生徒に対して、寄り添い型の支援（遅刻・不登校の対応、学習姿勢を向上させるための支援等）を行い、学びの場への定着につなげます。

令和6年度の取組内容・支援員の配置状況

①学習姿勢を向上させるための支援

・幼稚園・保育所等と小学校のギャップから授業に集中できない児童に寄り添い支援を行い、学習に向かう姿勢の定着を図ります。区内全10小学校に配置します。

②登校支援

・電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促すなどをします。区内全16小中学校に配置します。

③訪問支援

・家から出にくい児童生徒に対して、自宅に訪問し、学習支援、相談対応などを行います。（②の業務内容追加）

④居場所支援

・区内の一部の中学校において、学校内で教室以外に登校できる居場所（別室登校）を確保し、見守りを行います。

進捗状況

・学習姿勢を向上させるための支援として、支援員が授業中に、授業でじっとできない子、寝ている子、周りの児童より行動が遅れている児童への声掛けなど個別の対応をしている。また、担任の先生も個別児童に手を取られることなく、全体の授業進行が円滑にできるようになりつつある。

経営課題①　子どもの夢がひろがるまち

外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業

４決算額	0千円	５予算額	0千円	６予算額	9,934千円

目的

日本語で日常会話はできるが、学力に課題がある児童生徒を対象に、母国の学校では教わっていない内容や、日本語習得中に授業を受けたため十分に理解できていなかった内容などの補習を行うために放課後学習を実施します。
教科学習を通した日本語指導を行うことにより、学習に使う日本語（学習言語）の定着と学力の向上につなげます。

令和6年度の取組内容

・対象者　　西成区の小中学校に在学する小学校4年生～中学校3年生の帰国・来日等により学力に課題がある児童生徒で、日本語で日常会話ができる児童生徒。

・実施方法　区内の小中学校のうち2ヶ所(鶴見橋中、岸里小)で通所型の課外学習を実施します。

・実施内容　児童生徒3名に対して講師を1名配置し、個別の学習指導を行います。

進捗状況

・受講申込者数：定員65名に対し、小学生13名、中学生2名。（6月21日現在）
・受講開始：6月27日より鶴見橋中学校教室。6月28日より岸里小学校教室。

経営課題①　子どもの夢がひろがるまち

学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業

４決算額	0千円	５予算額	0千円	６予算額	7,533千円

目的

区内全中学校で、模擬テストを通じて、生徒個々人の苦手とする分野を分析し、また、苦手分野に応じた演習問題での反復演習をすることで、学力の向上を図ります。

令和6年度の取組内容

・事業対象　区内中学校に在籍する中学生
・実施内容　5教科（国語・数学・英語・社会・理科）の模擬テストの作成、テストの採点・分析、苦手分野の反復演習用問題の作成を、事業者に委託します。
各学校では、模擬テストの実施と苦手分野の反復演習を行います。

事業の流れ

①模擬テスト → ②採点・分析 → ③演習 → 学力向上

進捗状況

・中学3年生：5月31日に模擬テストを実施し、7月5日にテスト結果等を生徒に返却予定。
・中学1・2年生：12月2日に模擬テストを実施し、令和7年1月下旬にテスト結果等を生徒に返却予定。

経営課題①　子どもの夢がひろがるまち

発展型学習支援事業

４決算額	0千円	５予算額	0千円	６予算額	16,293千円

目的

家庭の経済状況に関わらず本人が志望する水準の高校への進学ができるように、**学習機会を提供**し、更なる**学力向上**をめざします。

令和6年度の取組内容

小5・6（西成ｼﾞｬｶﾞﾋﾟｰｽｸｰﾙｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ）

場所：区内小学校（６か所）
教科：国語・算数・英語
時間：週２回　各回１時間
小３・４対象の西成ジャガピースクールからステップアップし、進学を見据えて、小学校で習得しておく必要がある内容の学習

中１～３（西成特別進学塾）

場所：区内中学校（１か所）
教科：国語・数学・英語
時間：週３回　各回２時間
中３は、理科・社会の夏期・冬期講習（プラス40時間）も実施。
高校進学に向けた発展的な内容の学習

進捗状況

・小学校5・6年生：定員140名に対し、43名の参加。5月に授業開始。
・中学校1～3年生：定員40名に対し、30名の参加。5月に授業開始。

経営課題①　子どもの夢がひろがるまち

プレーパーク事業

４決算額	11,522千円	５予算額	16,735千円	６予算額	17,142千円

目的

魅力ある子育て環境を創出することで西成区に対する偏見やマイナスイメージを払拭し、西成特区構想でめざす子育て世代の誘引・定着への動機付けの一端を担う場となるべく子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークを実施する。

令和6年度の取組内容

プレイス型（にしなりジャガピーパーク）

＜ 場所 ＞
区内もと小学校、区内公園など

＜ 開催 ＞
土日祝を中心に年間54日

どろんこ遊びの様子

<実施内容>
「あそび場」「まなび場」「たまり場」を実施

体験型（ジャガパーわくわくクラブ）

＜ 場所 ＞
区内小中学校、区内公園など

＜ 開催 ＞
長期休暇を中心に年間18日

昆活しようぜ！の様子

<実施内容>
体験活動により子どもの好奇心を刺激し物事への興味や関心を広げ、ひいては学習意欲も引き出すことを目的としたイベントを実施

進捗状況

・（プレイス型）開催実績８日　平均来場者数66名（５月末集計）
・（体験型）６月１日　昆活しようぜ！＆アートワークショップ（天下茶屋公園）来場者数156名

経営課題②　人と人がつながりにぎわうまち

西成区文化観光振興事業

４決算額	8,003千円	５予算額	8,311千円	６予算額	8,262千円

目的

西成区の歴史・芸術文化・観光資源を活かし、にぎわいを創出するとともに、広く情報発信することで区民の方の愛着を深め、区外の方が魅力を感じる取組みを進める。

令和6年度の取組内容

①大阪フィルハーモニー交響楽団と連携した事業を実施

進捗状況

・小学校5校・中学校3校、出前授業を実施
・包括連携協定を締結
・西成オーケストラ鑑賞会2024開催予定

②芸術文化活動を通じたにぎわい創出のイベントを開催

進捗状況

・現代芸術イベント「ちょちょまうヴァナキュラー」をもと今宮小学校にて開催中（毎月１～２回）

③小中学生向けの職業体験イベントを実施

進捗状況

・「西成しごと博物館」開催予定

④新今宮エリアの魅力発信を実施

進捗状況

・新今宮ワンダーランド2024開催に向けて調整中

経営課題②　人と人がつながりにぎわうまち

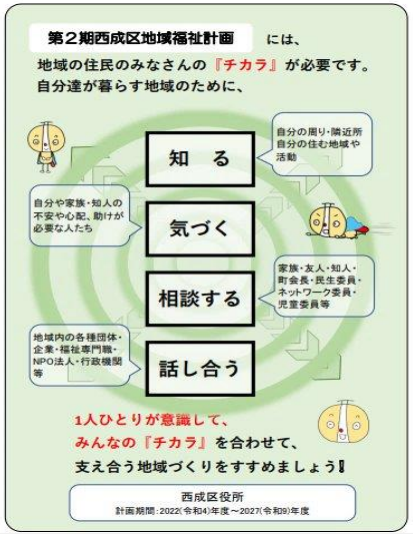
西成区地域福祉推進事業

４決算額	826千円	５予算額	927千円	６予算額	792千円

目的　地域で暮らす住民同士がつながりを持ち、支え合える地域づくりをめざす

令和6年度の取組内容

・地域活動へ参加するためのきっかけづくりと
　参加者の増加をはかる
・要援護者名簿を活用するための取組み
　（災害時をみすえた地域の見守り活動の検討）
・「つながる場」（複合的な課題を抱えた世帯の支援調整の場）
　の事例紹介を通じた情報発信と協力依頼
・地域福祉フォーラムの開催　など



進捗状況

・更新した要援護者名簿を各地域で受け渡し中
　（8月完了予定）
・「つながる場」について区役所全職員に研修を実施
・地域福祉フォーラムの内容について協議中

経営課題③　みんなが安心して暮らせるまち

地域防災活動事業

４決算額	5,862千円	５予算額	7,961千円	６予算額	8,523千円

目的

巨大地震等の大規模災害の発生が懸念されている中、災害発生時に重要な「自助・共助」の意識の醸成を図る。

令和6年度の取組内容

・地域コミュニティにおける共助意識の醸成及び地域防災力の向上を図るため、区内各地域にて、地域防災訓練を実施。
・区民一人一人の自助・共助意識を醸成させるため、小中学校の土曜授業や出前講座を実施。

地域防災訓練
避難訓練

小学校土曜授業
起震車体験

防災出前講座

経営課題③　みんなが安心して暮らせるまち

結核対策事業

４決算額	38,745千円	５予算額	56,856千円	６予算額	64,446千円

目的

西成特区構想の短期集中的施策として実施してきたあいりん地域を中心とした結核対策事業が、一定の成果をあげていることから、さらなる結核患者数・罹患率の減少に向けてあいりん地域はもとより区全体で取り組みを強化していく。

令和6年度の取組内容

・区役所、委託医療機関、検診車による結核健診を実施
・あいりん地域での分館・検診車による結核健診及びDOTS事業の実施
・あいりん地域での居所のない患者への療養支援事業の実施
・結核健診受診勧奨の強化

進捗状況（5月末集計）

・区役所、分館、委託医療機関、検診車による結核健診
　　―　１，２８０名受診
・あいりん地域での　ＤＯＴＳ事業　―　１８名利用
　　療養支援事業　―　８名利用

地域結核健診